

各 位

本店所在地 東京都千代田区永田町二丁目 11 番 1 号
 会 社 名 株式会社アイレップ
 代表者名 代表取締役社長 CEO 紺野 俊介
 (J A S D A Q ・ コード 2132)
 問合せ先 取締役 CFO 管理本部長 永井 敦
 電話番号 03-3596-8700 (代)

通期連結業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 11 月 14 日に公表した、平成 26 年 9 月期（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正するとともに、役員報酬の減額を実施いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	52,176	1,004	1,010	611	22.31
今回修正予想（B）	54,500	510	500	280	10.22
増減額（B－A）	2,324	△494	△510	△331	—
増減率（％）	4.5%	△49.2%	△50.5%	△54.2%	—
（ご参考）前期実績 （平成 25 年 9 月期）	47,390	950	967	584	21.35

2. 修正の理由

運用型広告市場は引き続き成長しており、当社グループの売上高もナショナルクライアントを中心に拡大、当初予想を上回り、前年比 15%程度増加する見込みであります。

これを踏まえ、売上高成長に対応する人材採用を積極的に行うとともに、中期経営計画に基づき、スマートフォンアプリプロモーション領域やソリューション領域等への新領域への投資を行い、人材配置も今後の成長期待領域に対して積極的に行って参りました。

一方、利益面では売上総利益率が低下いたしました。これは、主に売上高成長率に応じて決定される広告仕入条件において、当初想定を下回る見通しとなったことが要因であります。この影響を新領域における収益によってカバーできる見通しでありましたが、スマートフォンアプリプロモーション領域では、新規見込み顧客は十分に存在するものの一部の技術的な課題により事業の立ち上がりが遅れており、ソリューション領域の更なる拡大においても計画を大きく上回るには至らず、いずれも当期への収益貢献は限定的となる見通しとなり

ました。

結果として、各種投資による販売管理費の増加を吸収するだけの売上総利益の確保には至らず、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を下回る見込みです。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 役員報酬の減額について

当社は、この度の利益面における業績予想の下方修正を真摯に受け止め、代表取締役社長の役員報酬月額額の7%を6カ月間減額いたします。

4. 配当予想について

上記の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はございません。

以 上